

事業所名 ひまわり近江堂 支援プログラム (参考様式) 作成日 7 年 3 月 15 日

法人 (事業所) 理念 私たちは、子どもたちが安心して過ごせる場所を提供し、彼らの成長と幸福をサポートします。
笑顔: いつも笑顔で、楽しい環境を作ります。
明るさ: ひまわりのように明るく、元気な雰囲気をお大切にします。
協力: 職員と利用者が協力し合い、共に成長します。
ビジョン: 地域社会に愛され、子どもたちが笑顔で成長できる場所として認知されることを目指します。

支援方針 笑顔で接する: いつも笑顔で子どもたちと接します。
安全第一: 子どもたちの安全を最優先に考えます。
個々の成長をサポート: 一人ひとりの成長をお大切に、適切なサポートを提供します。

営業時間 9 時 30 分から 18 時 30 分まで 送迎実施の有無 あり なし

支援内容

健康・生活
・来所時の検温や引継ぎ (保護者や学校の先生等) 時に、心身の健康状態を確認します。
・小さなサインから、異変に気が付けるよう、観察を行います。
・来退所時の身辺処理 (靴の着脱・整理、荷物の整理、提出物の管理) をお子様に合わせて行い、習慣化に向けて支援します。
・お子様の必要に応じて排泄や水分補給、更衣の声をかけを行います。
・1日の流れや設定遊びの内容と流れ、イレギュラーな催しの実施時は、不安なく過ごせるように心がけます。そのために視覚支援を用いるなど、お子様に合った分かりやすい方法で伝えます。
・お箸の使い方、ちょうちん結びの練習等、必要に応じて個別に、身辺自立の練習を行います。
・おやつ時の準備、食べる時のマナーを習得できるように支援します。
・設定遊びにて、月2回程度クッキングプログラムを実施します。食への興味関心を高め、『食材を知る』や『作る』、『食べる』などの経験を培います。

運動・感覚
・設定遊びにて、体を使う遊び (サーキット遊び・輪投げキャッチゲーム・ボード返しゲーム・ケンケンパじゃんけんなど) を行います。それらを通して、体幹や体の使い方など身体機能の向上を図ります。
・設定遊びにて、製作活動 (季節に合わせた壁絵工作 (月1回) ・作って遊ぶ工作・垂直 (壁面に貼った紙に) お絵かき・プラ板工作など) を行います。それらを通して季節感の獲得、微細運動や想像力の向上を図ります。
・設定遊びにて、感覚遊び (視覚: スリーシェルゲーム・光タッチゲームなど、触覚: 小麦粉粘土・スライムあそび・水遊びなど) を行います。それらを通して、五感の向上を図ります。
・日常生活に必要な動作の基本となる、姿勢保持や運動機能の観察を行い、必要に応じて個別に支援を行います。

認知・行動
・設定遊びにて、色・数字・形など (色鬼ごっこ・数字紙コップタワーゲーム・宝探しゲームなど) 様々な概念獲得を行います。
・設定遊びにて、製作活動 (季節に合わせた壁絵工作 (月1回) ・作って遊ぶ工作・垂直 (壁面に貼った紙に) お絵かき・プラ板工作など) を行います。それらを通して形・色・大小・数量などの習得を支援します。
・設定遊びにて、感覚遊び (視覚: スリーシェルゲーム・光タッチゲームなど、触覚: 小麦粉粘土・スライムあそび・水遊びなど) を行います。それらを通して、想像力・思考力の習得を支援します。
・認知の偏りを把握し、適宜支援を行うことでこだわりや不快感・避けたい気持ちを軽減できるように支援します。必要に応じて、SSTプログラムを実施します。
・お子様や保護者の方が認知、解釈しやすいように環境を整え、ストレスなく通えるように支援します。

言語コミュニケーション
・学習時間にて、お子様の特性や苦手さに応じた課題を設定し、読み書き能力の向上を図ります。
・設定遊びにて、言葉の増加や話す力・聞く力の習得 (かるた遊び、言葉の並び替え遊び、言葉探し遊び、しりとり、マジカルバナナ、クイズ大会など) を行います。
・肯定的な声掛けや受容的な関わりを心がけ、コミュニケーションの経験を積めるように支援します。
・言葉でのコミュニケーションが難しい場合は、表情カードやお助けカードを使って、コミュニケーションが取れるように支援します。
・お友達同士やスタッフなど他者とのやり取りの場を提供します。必要に応じてスタッフが介入し、支援を行います。

人間関係社会性
・思いや考えに寄り添った言葉かけに努め、スタッフとお子様・お友達同士の良好な関係形成を図ります。
・スタッフがモデルとなり、他者に関わる経験を積むことができるように支援します。
・設定遊びや自由遊びにて、集団遊び (鬼ごっこ・ドッチボールなど) を行う際、ルールや順番を守ることや、協調した関わりを持てるように支援します。
・ルールづくりや、順番を決めるために、スタッフが必要に応じて介入し、支援を行います。
・他者との適切な距離感が把握できるように、適宜声掛けや視覚的な説明を行い、他者との良好な関係形成を支援します。
・設定遊びにて、外出プログラム (おやつを買いに行く・公園に行く・図書館へ行く・地域のホールを借りての運動遊びなど) を行います。それらを通して、交通ルールや社会ルール、施設利用時のルールを学びます。

家族支援
・連絡ノート、LINE、送迎時の情報共有や不安・困りごとの相談援助を行います。
・半年に1回程度、個別面談の実施します
・年に数回程度、母の会の実施します。
移行支援
・保育所から小学校、小学校から中学校など、次の教育機関への移行をサポートします。
・子ども一人ひとりのニーズや特性を丁寧に把握し、移行先の教育機関や施設と共有し、子どもたちが新しい環境でスムーズに適應できるように必要な情報を提供します。

地域支援・地域連携
・学校や連携機関と情報共有や担当者会議を行い、包括的に支援を行える環境をつくります。
・必要に応じて学校訪問を行い、参観や不安・困りごとの相談援助を行います。
主な行事等
・10月 ハロウィンイベント
・12月 クリスマス会
・母の会

職員の質の向上
・社内研修の実施
社内研修は職員の持ち回りで毎月行い、各職員が自分の専門分野や学んだことを共有します。これにより、職員同士の知識共有を促進し、全員が継続的に学習できる環境を提供します。
・外部研修への積極的な参加
職員が最新の知識や技術を習得できるよう、積極的に外部研修に参加します。
・費用の事業所負担
研修にかかる費用は事業所が負担し、職員が安心して参加できる環境を整えます。これにより、職員の経済的負担を軽減し、研修参加の意欲を高めます。
・研修内容のフィードバック
研修に参加した職員は、学んだ内容を他の職員にフィードバックします。フィードバックの方法として、定期的なミーティングや報告書の作成を行い、全員が情報を共有できるようにします。